

やすちゅう



自 学 ・ 自 治 ・ 自 愛

No. 23

令和 2年12月28日 (月)
有田市立保田中学校 井上 寿子

二学期を振り返って

長かった二学期が終わります。振り返ってみて、皆さんにとって、どのような二学期でしたか？新しい生活様式に基づき、1学期よりは少しずつ行事や活動ができるようになってきました。

先ず最初に行ったのは1年生の自然教室でした。暑い日差しの中、海での活動を満喫しました。校区にも海はありますが、海での活動はなかなかできません。とても貴重な体験でした。自然の家の方に、挨拶や行動を沢山褒めて頂いたと聞いています。1年生の素晴らしい面が校外の方にも認められて大変嬉しく思いました。施設と活動内容の関係上、日帰りの行事となってしまいましたが、海での体験と1年生の学年の力を十分に発揮できた行事となりました。

次に、修学旅行です。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、山梨県を中心とする東海方面への旅行を計画することができ、3年生の皆さんの素晴らしい自覚と行動のもと、無事に二泊三日の活動を行うことができました。富士山ハイキングや天然の氷穴、野生動物とのふれあいなどそこに行かなければ体験できない活動ができました。そして、何よりも「With コロナ」「感染症とどう向き合うか」について主体的に取り組むことで、自覚ある行動ができたと感じました。

2年生は職場体験を実施することができず、代わりに地域学習を実施しました。SDGsを意識して地域の課題を考え、インタビューに行き、課題に対する提言を行う素晴らしい活動でした。発表の方法もバラエティー豊富でいて、2年生の新たな一面を知ることができました。

続いて体育大会の代わりに「VS保田」、保田祭の代わりに「芸術の秋 in 保田」です。この二つは生徒の皆さんにとって二大行事といっても過言ではないでしょう。感染症対策をとりながらできる活動は何かということを生徒の皆さんと一緒に考え、工夫しながら、有意義な活動ができました。

「VS保田」では、単純に今までの行事を縮小したというだけではなく、全学年が2クラスになった今年ならではの縦割り活動を取り入れ、来年度以降に向けて新たな一歩となる行事を考えてくれました。「芸術の秋 in 保田」でも、素晴らしい学年合唱と合わせて、尾藤先生へのサプライズなど、心温まる一体感を感じられる行事となりました。そして、どちらの行事でも、「来年はこうしたい」「あんな先輩になりたい」と思えるような上級生の姿を見せてくれました。これこそが『伝統の力』だと実感しました。

保護者の皆様には、なかなか実際に見学して頂くことができず、心苦しく思っています。ご協力頂いたことに大変感謝申し上げます。

また、先日面談でお願いしたように、PCR検査等を受けることになりましたら、連絡して頂きますようお願いいたします。 良いお年をお迎えください。

